

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21700 地籍調査事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画
						款	2	総務費			ポイント				
						項	1	総務管理費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション		
						目	18	地籍調査費			分野別 施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2632										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765㎡		
伐採された木材の利用率	64%		
地籍調査実施面積	22,306ha		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		190,866	130,102	161,005			
特定財源	国費 ()						
	県費 (地籍調査事業費 3/4)	140,846	95,147	120,000			
	その他 ()						
一般財源		50,020	34,955	41,005			
新規・拡充	主な事業内容						
	測量等委託	190,000	129,403	160,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 3.66km ² ※1km ² = 100ha (高山地域0.38km ² 丹生川地域0.18km ² 清見地域0.41km ² 荘川地域0.27km ² 久々野地域0.29km ² 朝日地域0.41km ² 高根地域0.89km ² 国府地域0.04km ² 上宝地域0.79km ²)
評価等	・着実な事業実施に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・第7次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	161,005
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
161,005	161,005	161,005	0
120,000	120,000	120,000	0
41,005	41,005	41,005	0
査定額	説明		
160,000	地籍調査測量		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・第7次十箇年計画に基づき、計画的に地籍調査を推進するために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	森林整備計画	
						款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり			
						項	1	総務管理費			政策分野	4	森林・環境・エネルギー			
						目	19	環境政策費			施策分野	(1)	森林政策			
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2632											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し責任ある行動をとることができる人づくりをすすめる。 ・都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや木材利用、普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめる。 ・森林環境譲与税の活用により、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を図る。	概要	・保育園や幼稚園、小中学校等への出前授業による森林環境教育の推進 ・ひだ木遊館(西之一色町)を拠点とした全市域での木育イベント等の開催 ・千代田区との森林整備によるカーボンオフセットの取り組み、区市民の交流による森林理解の醸成 ・他の都市部自治体や企業との連携による森林づくりの拡大
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「身の回りに木や森に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合			

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		7,733	7,230	29,860		
特定財源	国費 ()					
	県費 (環境保全林整備事業、森と水の環境教育推進事業 等)	4,000	4,352	6,000		
	その他(カーボン・オフセット事業費(千代田区))	1,300	1,025	1,250		
一般財源		2,433	1,853	22,610		
新規・拡充	主な事業内容					
	千代田区との協定による森づくり(カーボンオフセット)	6,600	6,402	7,500		
	千代田区との連携協定による交流事業の開催	1,083	778	1,750		
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	50	50			
○ 1	木育・森林環境教育の推進			9,600		
	ひだ木遊館を拠点に実施する木育推進事業への支援			11,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(除伐 16.81ha) ・千代田区連携イベントの開催 内容: ちよだ環境まつりでの木育ワークショップの実施 日時: 6/17 場所: 千代田区役所 参加者: 約400人(ブース来場者)	
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、生育状況を考慮した適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進めることができた。 ・千代田区連携交流事業では、千代田区民に対して森林づくりの理解醸成が図られた。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・千代田区との連携協定に基づき、更なる森林整備や交流の活性化を図り、脱炭素社会の実現を目指す。 ・既に交流のある自治体との連携を促進する。 ・ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした、木育・森林環境教育を推進する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	33,470
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
40,260	31,470	33,470	3,610
12,678	6,700	6,700	700
2,261	2,250	2,250	1,000
25,321	22,520	24,520	1,910
査定額	説明		
6,000			
4,000	高山市林業体験ツアー等		
8,000			
15,000	ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした木育活動支援		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・木育や森林環境教育の推進に必要な経費を計上 ・千代田区連携事業など、都市部との連携などによる森林づくりの推進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・学校等への出前授業開催事業については、学校等との調整を要するため0査定 ・林業マッチング事業は53230林業担い手育成事業費にて実施
市長査定 の考え方	・積算内容を精査 ・学校等への出前授業開催に必要な経費を計上

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21810森林づくり交流推進事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	森林政策課
			☐ R6拡充	☒ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	2木育・森林環境教育の推進		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2631
			☐			目	19	環境政策費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し責任ある行動をとることができる人づくりをすすめる。	概要	・木育・森林環境教育を推進するための事業を実施する。 ・保育園や幼稚園の年長程度から中学生を対象にした森林環境教育により、将来の担い手育成につながる出前授業を行う。
----	---	----	---

【参考】R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	9,600
主な経費	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		9,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	8,000
主な経費	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
①木育ワークショップ企画運営事業 ・地域の特色を生かした木育プログラムを木育団体と地元事業者との共同により試行・開発する	
②つどいの広場全市木育展開事業 ・乳幼児親子を対象に、ぎふ木育ひろばに指定されている市内12か所のつどいの広場にて、定期的な木育プログラムを提供する。	
③どんぐりチャレンジ実施事業 ・幼児親子が森に入りどんぐりを拾うイベントを開催することで、木や森にふれる契機を創出する。	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
①木育ワークショップ企画運営事業 ・地域の特色を生かした木育プログラムを木育団体と地元事業者との共同により試行・開発する。	
②【拡充】市内学校等での出前事業の実施 ・森林学習等の出前授業を希望する学校等へコーディネーターを派遣、地域の特色を生かした森林環境教育プログラム実施	
③ぎふ木遊館市町村企画展の実施 ・木工製品展示、ひだ木遊館PR展示、木育イベントの開催	
[スケジュール]	
4月より随時実施	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画		
					款	2	総務費				ポイント				
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野			市長公約		
					目	19	環境政策費			施策分野					
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2632												
市長公約															

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・産直住宅建設促進事業者の活動への補助 ・県産直住宅協会への負担金
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
伐採された木材の利用率	64%		
市産材使用量	1,216m3/年		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		38,450	23,275	35,250			
特定財源	国費 ()						
	県費 (匠の家づくり支援事業費 1/2)	250	0				
	その他 ()						
一般財源		38,200	23,275	35,250			
新規・拡充	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成	32,500	19,466	29,700			
	東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業	5,000	3,109	4,000			
	高山・中津川林業・木材産業連携協議会負担金	500	500	500			
	みなと森と水ネットワーク会議負担金			50			
	広葉樹材利用の推進			800			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・匠の家づくり匠の家づくり支援事業 匠の家づくり支援事業補助金 (建築主市内建築型)64棟(市外建築型)15棟(市産材1,059㎡) 東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業)35棟(市産材157㎡)
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	・匠の家づくり支援事業については補助対象に内装材を追加し、市内及び中京圏を中心に市産材の利用拡大を促進する。 ・中津川市・高山市 林業・木材産業連携協定の期間の終了に伴い、令和6年度をもって東濃桧と飛驒の杉の家づくり補助金を終了する。 ・市産広葉樹材の利用拡大を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
0	0	0	△ 35,250
0	0	0	△ 35,250
査定額	説明		
	53265市産材利用推進事業費へ		
	R6年度事業終了		
	R6年度事業終了		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・53265市産材利用推進事業費へ結合
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53100 林道管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画			
					款	5	農林水産業費			ポイント						
					項	3	林業費		分野別	政策分野	5			産業労働プロモーション	市長公約	
					目	1	林業総務費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業		
担当課	森林・環境政策部 森林政策課		内線	2234												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕・機能強化を行う。
----	-------------------	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765㎡		
伐採された木材の利用率	64%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		55,995	55,752	34,150		
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	272	278	278		
	その他(敷地占用料)	300	606	300		
一般財源		55,423	54,868	33,572		
新規・拡充	主な事業内容					
	林道の修繕工事	49,702	49,621	26,500		
	林道の維持管理	3,000	2,894	7,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・林道修繕工事 53件 ・林道管理委託 15件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	65,650
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
65,650	65,650	65,650	31,500
278	394	394	116
309	300	300	0
65,063	64,956	64,956	31,384
査定額	説明		
56,600			
8,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・適正な林道管理費に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53200 市有林整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費			政策分野	5			産業労働プロモーション	市長公約
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2233											

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53210 緑の保全事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費			政策分野	5			産業労働プロモーション	市長公約
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2234											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げして助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765m ³		
伐採された木材の利用率	64%		
市補助を活用した間伐材搬出量	9,147m ³ /年		
市補助を活用した未利用材搬出量	9,072m ³ /年		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		66,000	60,949	66,150			
特定財源	国費 (緑の保全事業費 1/2)	1,600	1,600	1,600			
	県費 (緑の保全事業費 1/2、森林整備地域活動支援事業費 3/4)	6,300	3,082	6,500			
	その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	2,498	1,488	2,494			
一般財源		55,602	54,779	55,556			
新規・拡充	主な事業内容						
	間伐に対する助成	17,000	23,289	18,000			
	間伐材利用に対する助成	12,000	10,848	12,000			
	未利用資源活用に対する助成	21,000	18,211	21,000			
	自伐林家型の森林整備に対する助成	5,000	1,439	5,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・間伐事業 288.74ha ・間伐作業道開設事業 5,426m ・軽作業道開設事業 2,000m ・間伐材利用促進事業 9,147m ³ ・未利用資源活用促進事業(集運型 9,072m ³)※ ・自伐林家型地域森林整備事業 6.92ha ・人工造林 20.32ha ・下刈 22.14ha ・森林整備地域活動支援事業 63.00ha(森林経営計画の作成促進) ※未利用材資源活用推進事業(買取型)は、53265 市産材利用推進事業費へ移管
評価等	・作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。 ・森林整備地域活動支援事業により支援することで森林経営計画の作成が促進された。
次年度以降の考え方 (担当課)	・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。 ・人工造林(植栽)施業を促進し、森林の公益的機能の向上及び脱炭素化を推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	36,750
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
66,760	36,750	36,750	△ 29,400
1,600	1,600	1,600	0
5,505	5,550	5,550	△ 950
1,938	0	48	△ 2,446
57,717	29,600	29,552	△ 26,004
査定額	説明		
18,000			
0	53265市産材利用推進事業費へ移行		
0	53265市産材利用推進事業費へ移行		
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・森林整備促進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・間伐材利用促進事業及び未利用資源活用促進事業については、53265未利用材推進事業費へ移行
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	森林整備計画、高山市移住定住戦略	
						款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える未来の担い手づくり			
						項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～ 農林畜産業における就業支援を強化	
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2631											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。 ・美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。	概要	・高山市における林業等の担い手の確保・育成
----	---	----	-----------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
森林技術者数	170		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		4,198	3,420	4,148		
特定財源	国費 ()					
	県費 (林業就業移住支援事業費 3/4)	1,500	1,350	1,500		
	その他 ()					
一般財源		2,698	2,070	2,648		
新規・拡充	主な事業内容					
	森林技術者の育成確保	248	248	248		
	林業就業の促進	450	282	400		
	林業担い手学生支援事業	1,500	1,090	1,500		
	林業就業移住支援事業	2,000	1,800	2,000		
○ 1	森の担い手マッチング事業					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・高山市での就業・起業意欲のある岐阜県立森林文化アカデミーの学生3名に対し、修学に必要な経費を補助した。 ・県外から高山市に移住し、林業事業体に就業した移住者3名に支援を行った。
評価等	・市内で不足する森林技術者等の確保に効果があった。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援などにより市内の林業技術者の確保を図る。

4.令和7年度予算編成(Action) (千円)

R7予算		実施計画額	6,498
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,598	6,498	6,498	2,350
1,950	1,500	1,500	0
2,648	4,998	4,998	2,350
査定額	説明		
248	県林業労働力確保支援センター負担金		
250	森林就業ガイダンス		
1,500	県立森林アカデミー学生に対する助成		
2,000	林業就業移住者に対する助成		
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・県立森林文化アカデミーの学生に対する就業支援に必要な経費を計上 ・移住による市内林業事業体への就業や森林技術者の確保に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・森の担い手マッチング事業については21810森林づくり交流推進事業費より移行 ・林業就業移住支援事業については県補助増額しないため現行どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	森林政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1 森の担い手マッチング事業		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2631
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市における林業等の担い手の確保・育成	概要	・市内での就業を希望・検討する学生と事業者とのマッチングによりインターンシップを促進、林業や木材産業、建設業、木工業などの森の担い手の確保及び事業者連携の強化を図る。
----	-----------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,500
主な経費	委託料	
対前年度増減額(当初予算)		2,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
①賛同する事業者を募集し実行委員会を組織 ②具体的なツアー概要を企画立案 ③参加者を募集(専門業者等による幅広い広報を実施) ④見学ツアーの開催 ⑤その後のフォローアップ、インターンシップや就業につなげる	
[スケジュール]	
4月 業務委託 実行委員会設置、企画 参加者募集 6月 見学ツアー開催 7月 インターンシップ受入	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53240 林道整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費			政策分野	5			畜産・労働・プロモーション	市長公約
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2234											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設促進を図る。 ・林道の早期完成を図る。 ・林道改良の推進を図る。	概要	・林道宮・高山線の整備にかかる負担金を支出する。 ・国県林道事業を活用し、林道の改良を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765㎡		
伐採された木材の利用率	64%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (林道改良事業費 1/2、6/10、2/3)	20,300	19,271	26,500		
	その他(地方債)					
一般財源		20,686	17,860	26,650		
新規・拡充	主な事業内容					
	林道橋りょう点検	5,000	4,620	9,500		
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	5,000	4,698	6,850		
	林道改良工事費	27,600	26,622	23,500		
	大規模林道賦課金元利補給金	576	575	429		
	測量等委託費			10,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・林道宮・高山線整備済延長 10,114m ・宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) ・受益者組合への補助金交付 1組合 ・林道改良工事の実施 (上宝) 双六〜瀬戸線 L=20.0m (国府) 宮谷〜明ヶ谷線 L=455.0m ・林道橋りょう点検 9橋
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。 ・林道の改良により、森林の整備及び通行の安全を確保することができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・林道宮・高山線については、引き続き、県の代行業による林道開設を進める。 ・安全な通行を確保するため、引き続き、計画的に林道改良や橋りょう点検等を行う。 ・林道橋の補修を行い長寿命化を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	141,522
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
172,122	141,522	141,522	88,372
99,553	80,600	80,600	54,100
40,000	28,000	28,000	28,000
32,569	32,922	32,922	6,272
査定額	説明		
5,200			
5,600			
119,000	林道橋梁改良工事(イワス橋、PCB廃棄)ほか		
411			
8,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・林道の改良及び開設等に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・イワス橋工事内容を精査 ・PCB運搬は特殊業務となるため運搬委託を追加
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント				
						項	3	林業費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー	市長公約	
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)	森林政策		
担当課	森林・環境政策部	森林政策課	内線	2632											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をするともに、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。	概要	・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	40.6%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		24,033	19,506	21,654			
特定財源	国費 ()						
	県費 (生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10)	14,650	10,771	4,500			
	その他(生活環境保全林施設使用雑入、生活環境保全林施設建物貸付収入)			0			
一般財源		9,383	8,735	17,154			
新規・拡充	主な事業内容						
	施設の維持管理	4,733	4,329	10,654			
	施設の修繕	9,300	7,509	11,000			
	観光景観林整備	10,000	7,668				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・生活環境保全林の利用者数 125,392人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 ・観光景観林整備(除間伐 7.21ha)
評価等	・遊歩道の管理や施設の修繕等適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場を提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光課所管の森林公園大倉滝庵廃止により、施設の一部を大倉地区(清見)の生活環境保全林として管理を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	16,466
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
16,520	16,466	16,466	△ 5,188
2,870	2,850	2,850	△ 1,650
2,753	2,753	2,753	2,753
10,897	10,863	10,863	△ 6,291
査定額	説明		
9,466			
7,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・生活環境保全林の維持管理を行うために必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費			政策分野	5			畜産・労働・プロモーション	市長公約
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)			農業・林業・畜産業	
担当課	森林・環境政策部	森林政策課	内線	2631												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の森林を、森林環境譲与税を活用し、将来目標とする4つの姿(木材生産林、環境保全林、観光景観林、生活環境林)にあわせた森林整備を実施し、水源林の保全や災害に強い森林づくりなどの森林の有する公益的機能増進を図る。	概要	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・森林推定地番図の作成により森林所有者等の特定を図り、個人所有の森林整備を加速化 ・広葉樹材生産に向けた皆伐後の天然更新の状況や市有林の広葉樹等の資源量を把握 ・スマート林業の推進による生産性の向上を図る ・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765㎡		
森林境界調査事業実施面積	746ha		
森林経営管理制度に基づき市が実施した森林整備面積	16.31ha		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
		317,007	243,208	162,940		
特定財源	国費 ()					
	県費 (森林整備地域活動支援事業費 23/100、観光景観林整備事業費 10/10 等)	4,200	2,941	2,200		
	その他(森林環境整備基金繰入金)	29,338	83,605			
一般財源		283,469	156,662	160,740		
新規・拡充	主な事業内容					
	森林経営管理アドバイザー等の配置	27,640	28,127	30,640		
	森林情報管理システム構築、森林境界明確化の推進	142,000	126,852	44,000		
	森林資源等調査			5,000		
○	森林整備の推進	92,000	57,771	40,000		
	スマート林業の推進	5,000	1,000	5,000		
	作業道の修繕等に対する支援	26,000	25,345	26,000		
	市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発	5,000	3,086	10,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・森林経営管理アドバイザー等の配置 3名 ・森林境界調査事業 滝町、丹生川町板殿、日面、国府町桐谷(換算面積327ha) ・森林情報管理システムのデータ整備(林地台帳の整備・地籍図データ取り込み) ・重点区域森林整備事業 16.31ha ・林道機能強化 17件 ・市民提案型森林づくり推進事業 補助事業4件、委託事業5件 ・森林作業道維持修繕事業補助金 34件 ・スマート林業推進事業補助金(ICT測量機器購入補助) 2件
評価等	・森林環境譲与税の活用によって、災害に強い森林づくりや森林所有者の森林経営管理意欲の向上、作業道等路網整備の促進につながった。 ・市民団体の提案や市との協働事業を森林環境譲与税を活用して支援することで、木育や森林環境教育の推進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	・森林環境譲与税を活用し、森林整備や作業道等路網整備など、災害に強い森林づくりを行う。 ・市民団体等と協働した木育等により、市民の森林や林業に対する理解の醸成を図る。 ・県の支援が受けられない事業体に対し、高性能林業機械やICT機器の導入支援を行うことによるスマート林業を促進する。 ・広葉樹の資源量を把握するための市有林でのモデル調査を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	109,740
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
114,340	109,740	109,740	△ 53,200
9,090	2,200	2,200	0
105,250	107,540	107,540	△ 53,200
査定額	説明		
30,640			
22,000			
2,000	広葉樹資源量調査		
29,500	重点区域等森林整備、船山山頂眺望整備に係る測量設計		
3,000	スマート林業推進事業補助金		
20,000	森林作業道維持修繕事業補助金		
	R6年度事業終了		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・森林経営管理制度により、森林の経営管理を円滑に行うために必要な経費を計上 ・重点区域森林整備事業など、災害に強い森林づくりに必要な経費を計上 ・スマート林業の推進に必要な経費を計上 ・久々野地域域振興策に必要な経費を計上 ・森林境界明確化、森林推定地番図の作成に必要な経費を計上 ・市産広葉樹材の活用等の検討を行うため市有林の広葉樹資源量等調査に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・舟山山頂眺望整備については、R7年度は測量のみの実施とする
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53260100年先の森林づくり推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	森林・環境政策部 森林政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1森林整備の推進		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2233
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・久々野地域振興策の一環として舟山山頂の眺望環境の整備を実施する。	概要	・久々野地域振興策の一環として舟山山頂の眺望環境の整備を実施するため、支障木伐採範囲や樹種等の調査及び展望台整地に必要な地形調査などの敷地測量を実施する。
----	-----------------------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[スケジュール]	

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,500
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		2,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
・舟山山頂眺望環境の整備に係る敷地測量 支障木伐採調査の実施 地形調査の実施	
[スケジュール] R7.4～ 敷地測量の実施 整備手法等の検討	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53265 市産材利用推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画		
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	
						目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2632											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材(広葉樹材を含む)の利用拡大を推進する。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・林地残材となっている未利用材の搬出経費への支援(委託、補助) ・県産直住宅協会への負担金 ・広葉樹の利用拡大を目的としたシンポジウムへの共催負担金
----	--------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
伐採された木材の利用率	64%		
市産材使用量	1,216m3/年		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()						
	県費 (市産材利用推進事業費 1/2)						
	その他 ()						
一般財源							
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	匠の家づくりに対する助成	32,500	19,466				
	みなと森と水ネットワーク会議負担金						
	広葉樹材利用の推進						
	未利用間伐材の搬出促進						
	未利用資源活用に対する助成						
	間伐材利用に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	66,050
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
37,550	66,050	66,050	66,050
1,500	1,500	1,500	1,500
36,050	64,550	64,550	64,550
査定額	説明		
29,700	21830匠の家づくり支援事業費より移行		
50	21830匠の家づくり支援事業費より移行		
300	21830匠の家づくり支援事業費より移行		
2,800	21820自然エネルギー普及促進事業費(環境政策課)より移行		
21,000	53210緑の保全事業費より移行		
12,000	53210緑の保全事業費より移行		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・事業を新設 ・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上 ・広葉樹の利用推進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・事業者に対する未利用資源活用に対する助成及び間伐材利用に対する助成を53210緑の保全事業より移行
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり ・匠の家づくりに対する助成について、補助上限を引上げ

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53265市産材利用推進事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	森林・環境政策部 森林政策課
			☐ R6拡充	☒ R7拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1匠の家づくりに対する助成		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2233
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律(R3.10.1施行)」に規定される建築物全般での木材利用を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施
----	---	----	-------------------------------

【参考】R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	32,500
	繰越	0
	補正等	0
	最終	32,500
決算額		19,466
対前年度増減額(決算)		△ 8,064

【参考】R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	29,700
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 2,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	29,700
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施 補助事業名:匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円／㎡ (限度額) 300千円 【事業実績】 ・補助件数 79件 ・市産材利用量 1,059㎡		
次年度以降の考え方(担当課)	構造材に加え内装材を補助対象に追加し市産材の利用拡大を図る	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施 補助事業名:匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円／㎡ 内装材 2千円／1㎡ (限度額) 300千円	
[スケジュール] 4月1日以降に提出のあった補助金交付申請分より内装材の補助を開始	

事業実績、評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール		
・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施 補助事業名:匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円／1㎡ 内装材 2千円／1㎡ (限度額) 300千円から500千円に引上げ		
[スケジュール] R7.4～ 事前確認申請書の受付 補助金の交付		

事業シート(令和7年度予算)

事業名	53300 分収造林整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	5	農林水産業費			ポイント					
						項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション			市長公約
						目	3	分収造林費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	森林・環境政策部 森林政策課			内線	2233											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施業を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
木材生産量	92,765㎡		
伐採された木材の利用率	64%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		21,594	16,811	47,276			
特定財源	国費 ()						
	県費 (分収造林整備事業費 80/100、85/100、10/10)	10,500	9,336	10,500			
	その他(分収造林事業受託収入、物品売払収入)	11,000	6,477	24,200			
一般財源		94	998	12,576			
新規・拡充	主な事業内容						
	分収造林の整備	19,872	15,125	39,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・保育間伐 32.27ha(清見地域・荘川地域) ・路網整備 1,110m(一之宮地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)と分収造林地の効率的な管理を行うため、森林整備も含めた管理委託について、協議・調整を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施業を継続的に実施する。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)分収造林地の管理について、分収林契約を見直し、管理業務の委託化をすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	60,176
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
60,196	60,176	60,176	12,900
26,800	26,800	26,800	16,300
23,050	27,500	27,500	3,300
10,346	5,876	5,876	△ 6,700
査定額	説明		
50,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・分収造林の整備に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・せり売り売却単価の上昇等により売払収入を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	96240 過年林業施設災害復旧事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画			
						款	10	災害復旧費			ポイント						
						項	1	農林水産業施設災害復旧費		分野別	政策分野				市長公約		
						目	2	過年林業施設災害復旧費			施策分野						
担当課	森林・環境政策部	森林政策課	内線	2233													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・令和6年5月豪雨により被災した林道の災害復旧	概要	・林道の災害復旧
----	-------------------------	----	----------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()						
	県費 (農林水産業施設災害復旧費補助金 50/100)						
	その他(地方債)						
一般財源							
新規・拡充	主な事業内容						
	災害復旧工事(令和6年5月豪雨)						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,000	4,000	4,000	4,000
2,000	2,000	2,000	2,000
1,600	1,600	1,600	1,600
400	400	400	400
査定額	説明		
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・林業施設の災害復旧に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり